

ごあいさつ

ここに2004年版「町田市統計書」を刊行いたします。

本書は、人口・産業・経済・文化・教育・福祉等各分野の基本的な資料を2002・2003年度を主に収録し、市の現状と推移発展を紹介するものです。

いま社会は、高齢化や国際化への対応、市政においては中核都市としての基盤整備や諸行政の充実へと、大きく飛躍しつつあります。過去の軌跡を分析し、現状を正しく判断するために、統計の持つ役割はますます重要になっています。本書が地域発展のための基礎資料として広くご利用いただければ幸いです。

編集に当たりましては、可能な限り最新の資料と内容の充実に努めましたが、不備な点につきましては、更に改善に努めてまいりたいと考えております。

本書の刊行にあたり、貴重な資料を提供していただいた関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

2005年3月

東京都 町田市長

寺田 和雄

本書をご利用のみなさまへ

編集にさいして

この統計書は各関係機関が所有している資料、既に刊行されている各種統計報告書、本市各部課から町田市についての統計資料を収録しました。

資料における「時」のおさえ方

過去との対比を考慮して過去数年の数字を記載しています。とくに断り書きのないかぎりは記載のしかたは次のとおりです。

- 年次・・・暦年（1月1日から12月31日まで）
- 年度・・・会計年度（4月1日から翌年3月31日まで）
- 年月日・・・記載した期日を現在日として

統計表のみかた

統計表の注・・・統計表のなかで説明を必要とする事項については「注」として表しました。

- | | | | |
|-------|-----|---------|---------------------|
| 表体の符号 | ・・・ | ○ | 「単位未満のもの」 |
| | | — | 「皆無、または該当する数字がないもの」 |
| | | … | 「資料なし（不詳）のもの」 |
| | | X | 「統計法による秘匿数字」 |
| | | 斜体字又は r | 「訂正数字」 |
| | | △ | 「減少」 |

数字のまとめ方・・・少数点以下の数字については四捨五入を原則としました。したがって総数（合計数字）が内訳の計と一致しない場合があります。

照会先

この統計書に関する問い合わせは下記へご連絡ください。

町田市役所（代表） ☎ 042-722-3111 （内線2217）

町田市総務部総務課統計係（直通） ☎ 042-724-2106

町田市ホームページアドレスのご案内

<http://www.city.machida.tokyo.jp>

町田市の数字

| 項 目 | 数 値 | 期 日 | 項 目 | 数 値 | 期 日 |
|-------------------------------|-----------------------|----------|--------------------------------|--------------------------|--------|
| 面積 | 71.62 km ² | 04.1.1 | 道路総延長 | 1,281,088 m | 04.4.1 |
| 人口（住民基本台帳） | 397,620 人 | // | 道路面積 | 7,688,713 m ² | // |
| 世帯（住民基本台帳） | 160,397 世帯 | // | 橋梁数 | 192 橋 | // |
| 人口密度（1km ² 当たり） | 5,552 人 | // | 街路灯数 | 25,253 基 | // |
| 転入人口 | 25,338 人 | 03.1.1 | 水道配水量 | 47,133 千m ³ | 04年度 |
| 転出人口 | 18,404 人 | // | ごみ収集量 | 145,131 トン | 03年度 |
| 出生数 | 3,307 人 | // | 下水処理量 | 39,269 千m ³ | // |
| 死亡数 | 2,433 人 | // | 公園数 | 552 園 | 04.4.1 |
| 外国人登録者数 | 4,052 人 | 04.1.1 | 公園面積 | 19,475 m ² | // |
| 国勢調査人口 | 377,494 人 | 00.10.1 | 犯罪発生件数 | 8,705 件 | 03年 |
| 婚姻数 | 2,179 件 | 02年 | 交通事故発生件数 | 3,116 件 | // |
| 離婚数 | 816 件 | 02年 | 火災発生件数 | 161 件 | // |
| 事業所数 | 11,921 事業所 | 01.10.1 | 救急車出動件数 | 16,774 件 | // |
| 従業者数 | 123,633 人 | // | 建築確認申請件数 <small>（市申請分）</small> | 1,653 件 | 03年度 |
| 経営耕地面積 | 382 ha | 00.2.1 | 公共賃貸住宅件数 | 27,232 戸 | // |
| 農業従業者数 | 5,077 人 | // | 市民相談件数 | 19,459 件 | // |
| 商店数 <small>（卸・小売業）</small> | 2,952 店舗 | 02.6.1 | 自動車登録台数 | 136,319 台 | 02年度末 |
| 商業従業者数 <small>（卸・小売業）</small> | 28,337 人 | // | 病院・診療所数 | 509 医院 | 03年度 |
| 工場数 | 216 工場 | 02.12.31 | 郵便局数 | 34 局 | // |
| 工場従業者数 | 5,691 人 | // | 金融機関数 | 34 行 | 02年度 |
| 保育園数 | 44 園 | 04.5.1 | 求職者数 | 81,796 人 | 03年度 |
| 保育園児数 | 4,331 人 | // | 選挙人名簿登録者数 | 325,720 人 | 04.9.2 |
| 幼稚園数 | 38 園 | // | 被生活保護者数 | 4,390 人 | 03年度 |
| 幼稚園児数 | 8,515 人 | // | 国民健康保険加入者数 | 141,443 人 | 03年度末 |
| 公立小学校数 | 39 校 | // | 国民年金加入者数 | 115,765 人 | // |
| 公立小学校児童数 | 20,804 人 | // | 民生委員数 | 227 人 | // |
| 公立中学校数 | 20 校 | // | 当初予算 <small>（一般会計）</small> | 111,273,372 千円 | 03年度 |
| 公立中学校生徒数 | 8,385 人 | // | 当初予算 <small>（特別会計）</small> | 86,561,211 千円 | // |
| 公立高等学校数 | 7 校 | // | 当初予算 <small>（公営企業会計）</small> | 12,805,416 千円 | // |
| 公立高等学校生徒数 | 5,728 人 | // | 一般会計決算額 <small>（歳入）</small> | 113,849,350 千円 | // |
| 図書館蔵書数 | 958,358 冊 | 03年度末 | 一般会計決算額 <small>（歳出）</small> | 111,465,952 千円 | // |
| 図書貸出数 | 4,096,223 冊 | 03年度 | | | |

統計から見た町田市

(特に記載がない限り2002年度の数値を使用しています。)



土地面積
(市全域)

1人当たり
187 m²



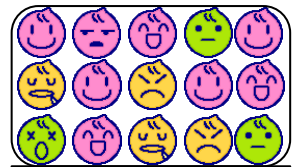
公園面積
(市立)

1人当たり
5.1 m²



世帯

1世帯当たり
2.5 人



人口密度

1km²当たり
5,337 人



婚姻

1日に
6.0 組



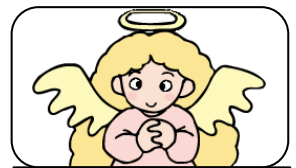
離婚

1日に
2.2 組



出生

1日に
8.9 人



死亡

1日に
6.1 人



転入

1日に
68.7 人



転出

1日に
50.0 人



ゴミ
(処理量)

1日に
391.3 トン



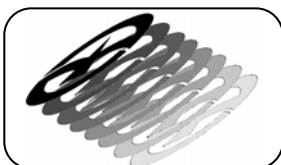
し尿
(処理量)

1日に
123.2 kL



納税義務者所得
(2003年度)

1人平均
435 万円



市税

1人当たり
169 千円



市予算
(一般会計当初)

1人当たり
283 千円



市職員

市民 128 人に
市職員 1 人



使用電力量

1日に
3,487 MWh



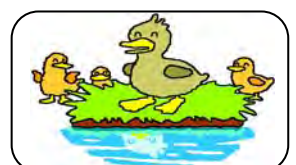
都市ガス消費量

1日に
190 km³



水道配水量

1日に
130 km³



下水処理量

1日に
102.9 km³



銀行預金

1世帯当たり
1,308 万円



郵便

(引受・配達数)
一日に
72,402 千通



病院・診療所

市民 463 人に
1 院



病床

市民 100 人に
1 床



教員

(公立・2004年)
小学生 19 人に 1 人
中学生 13 人に 1 人



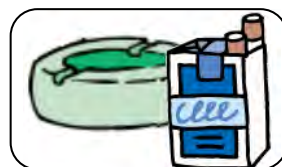
図書館

(貸出冊数)
一日に
11,036 冊



酒

(消費量)
一日に 1 人当たり
155 ml



たばこ

(消費量)
一日に 1 人当たり
5.1 本



刑法犯罪

一日に
25 件



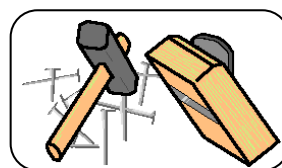
交通事故

一日に
8.6 件



警察官

市民 689 人に
1 人



着工住宅数

1日当たり
15 軒



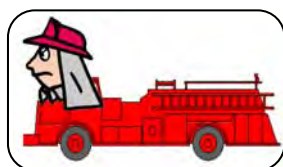
救急車出動

一日に
43.7 件



火災

一日に
0.43 件



消防車両

5,605 世帯に
1 台



消防職員

(2004年)
市民 1,202 人に
1 人



乗用車

1.2 世帯に
1 台



J R

(乗車人員)
一日に
132,701 人



私鉄

(乗車人員)
一日に
223,641 人



バス

(輸送人員)
一日に
9,077 人

町田市の人口年表

| 年号 | 西暦 | 記 事 |
|------|------|---|
| 享保 6 | 1721 | 徳川吉宗人口調査。全国人口「 26,065,425人 」 これ以降1846年まで16回実施。 |
| | 1805 | 関東取締出役設置。「寄場名主」を筆頭に組合村形成。 このころより盛んに、村概況・戸数人口・道・橋・秣場・助郷等詳細に調査し、 各村の明細帳として作成。 |
| 慶応 4 | 1868 | 市域武蔵知県事、葦山県管轄となる。「江戸」が「東京」となり、旧東京府設置。 |
| 明治 元 | 1868 | この頃までに上図師・下図師が上下図師村持添統合し、 上下図師村となる。のち図師村と称す。 |
| 2 | 1869 | この頃、小川・高ヶ坂・鶴間・金森・成瀬は「神奈川県」に。 他は品川県に所属。東京奠都。 |
| 3 | 1870 | この頃、市域の人口「 約14,000人 」 戸籍編成規則回達。「平民族戸籍」編成。 |
| 4 | 1871 | 戸籍編成に際し五人組復活、伍長を置く。戸籍法制定（壬申戸籍） 戸籍区制実施につき市域は第30・31・35区に含まれる。 廃藩置県・東京府設置。寺請制から氏子守礼制移行。 |
| 5 | 1872 | この頃、原町田・本町田・森野・南大谷が品川県より神奈川県に編入される。 土地永代売買の禁を解き、所有者に地券（壬申地券）下付。 明治6年にかけて「物産調査」施行。 太陽暦採用。市域の組合村解体。庄屋などを廃し、戸長などと改称す。 （壬申）戸籍編成のための「 全国戸口調査 」実施。 |
| 9 | 1876 | 原町田の大火（ローソク屋出火）。氏子守礼制での人口調査廃止。 |
| 11 | 1878 | この頃、人口「 14,000人 」 三新法（群区町村編成法・府県会規則・地方税規則）公布。 神奈川県多摩郡を西・北・南に分裂。 翌年までに大谷村が南大谷村となる。 原町田・本町田・森野・南大谷が南多摩郡に入る。 |
| 21 | 1888 | 市制・町村制公布。 |
| 22 | 1889 | 市域24村から鶴川・南・忠生・町田・堺の五村に合併する。大日本帝国憲法発布。 東京都市制施行。 |
| 26 | 1893 | 4月1日三多摩東京府へ移管につき、市域も東京府となる。 |
| 28 | 1895 | 下関条約。12月31日現在の人口「 18,637人 」「 3,329戸 」 |
| 32 | 1899 | 南多摩郡、郡制施行。耕地整理法分布。 |
| 33 | 1900 | 人口「 20,184人 」「 3,328戸 」 |
| 37 | 1904 | 横浜鉄道本社、東神奈川に創立。 |
| 42 | 1908 | 横浜鉄道（八浜線）開通に伴い原町田駅開設。 忠生村役場新設（図師1448番地、現在の図師大橋付近） |
| 大正 2 | 1913 | 町田村が町田町となる。 |
| | 1915 | 町田町役場新築（原町田1241番地4・現在の町田センタービル付近） |
| | 1917 | 横浜鉄道国有化。この頃、日本の生糸生産額が世界の6割に達する。 |
| | 1920 | 戦後恐慌。 第1回国勢調査実施（町田分人口23,620人） |
| | 1921 | 郡制廃止法公布。同年原町田駅前タクシーが開業される。 |
| | 1923 | 関東大震災。市域の死者28人、被害も甚大。南多摩郡廃止。 |
| 昭和 2 | 1927 | 小田急線（新宿～小田原）開通。新原町田駅・鶴川駅設置。 |
| 4 | 1929 | 世界経済恐慌（日本は1年遅れ）帝都昼間人口調査。 |
| 5 | 1930 | 町田乗合バス会社設立。 |
| 8 | 1933 | 9月8日町田町大火災（115戸焼失） |

| 年号 | 西暦 | 記 | 事 |
|-------|------|--|---|
| 昭和 15 | 1940 | 第5回国勢調査（市域人口32,020人） | |
| 16 | 1941 | 太平洋戦争勃発。 | |
| 17 | 1942 | 食糧管理法制定。 | |
| 18 | 1943 | 東京都制実施。 | |
| 19 | 1944 | 資源調査法による人口調査。 | |
| 20 | 1945 | 市域各地に爆弾投下。太平洋戦争終結。市域全体の戦死者1,135人。 資源調査法による人口調査。 | |
| | | 第6回国勢調査（市域人口50,528人） | |
| 21 | 1946 | 日本国憲法公布。 | |
| 22 | 1947 | 統計法公布。東京都昼間人口調査。 | |
| 23 | 1948 | 常住人口調査。 | |
| 27 | 1952 | 住民登録法施行（7月1日） 金森に都営引場者住宅建設。以後都営住宅建設続く。 | |
| 29 | 1954 | 町田町・南村合併。 | |
| 32 | 1957 | 首都圏整備法施行 | |
| 33 | 1958 | 首都圏整備法指定第1号。2月1日町田市制施行。 | |
| | | 世帯「12,970世帯」人口「61,105人」（男性30,619人/女性30,486人） | |
| 36 | 1961 | 高ヶ坂団地入居開始。東京都の常住人口1千万人突破。 | |
| 38 | 1963 | 森野・木曾団地入居開始。 | |
| 39 | 1964 | 世帯「26,808世帯」人口「100,928人」（昭和39.5.1） オリンピック東京大会（第18回）開催。 | |
| 40 | 1965 | 本町田団地入居開始。 | |
| 42 | 1967 | 鶴川団地入居開始。住民基本台帳法施行（昭和42.11.10） | |
| 43 | 1968 | 境川団地・山崎団地入居開始。東急田園都市線つくし野駅開業。 | |
| 45 | 1970 | 藤の台団地入居開始。 世帯「61,609世帯」人口「200,459人」（昭和45.10.1住民基本台帳人口） 市役所新庁舎オープン。新都市計画法による三多摩の市街化調整。団地白書発表。 | |
| | | 第11回国勢調査実施。 | |
| 47 | 1972 | 沖縄返還。集中豪雨で境川氾濫、各地に被害。 | |
| 50 | 1975 | 市営水道事業、都へ移管。 | |
| | | 第12回国勢調査。世帯「73,371世帯」人口「255,305人」 | |
| 51 | 1976 | 桜美林高等学校が、第58回全国高校野球選手権大会（甲子園）で優勝。 | |
| 55 | 1980 | 第13回国勢調査。世帯「89,547世帯」人口「295,405人」 | |
| 60 | 1985 | 第14回国勢調査。世帯「100,826世帯」人口「321,188人」 | |
| 63 | 1988 | 高齢者人口7.09%になる。 | |
| 平成 2 | 1990 | 第15回国勢調査。世帯「119,009世帯」人口「349,050人」 | |
| 3 | 1991 | 京王相模原線多摩境駅開業。 | |
| 7 | 1995 | 1月17日阪神淡路大震災。死者6,300人以上、被災者30万人を超える大災害。 | |
| | | 第16回国勢調査。世帯「130,739世帯」人口「360,525人」 | |
| 12 | 2000 | 第17回国勢調査。世帯「145,764世帯」人口「377,494人」 | |
| 13 | 2001 | 日本大学第三高等学校（日大三高）が第83回全国高校野球選手権大会（甲子園）で優勝。 | |
| 14 | 2002 | 市の鳥「カワセミ」を制定。（6月15日） 白洲次郎・正子旧宅を町田市指定史跡に指定。（11月8日） 人口40万人（外国人登録人口を含む）を達成（9月8日） | |
| 15 | 2003 | 八王子市、相模原市と行政境界を変更。町田市の面積71.63km ² になる。 | |
| 16 | 2004 | 10月23日新潟県中越地震発生。この年自然災害相次ぐ。 | |

※「東京都人口年表」及び「町田市歴史年表」「町田の歴史をさぐる」等ご参照ください。

町 田 市

市 章



昭和33年10月1日の制定。

マチダのマの二字をもって“田の字型”に図案化して、市民の和合団結と中央の鳥形は、平和と発展を表象する。

市の木 けやき

市の花 サルビア

市の鳥 かわせみ

市民の木 いちょう・とちの木・はなみずき

市民の鳥 シジュウカラ・メジロ・コゲラ・ウグイス

市民の花 つつじ・ゆい・すみれ・さくら・のぎく・コスモス

町田市民憲章

昭和43年5月11日制定

- 1 わたくしたちは 市民としての自覚と誇りをもち進んでその責任をはたしましょう
- 1 わたくしたちは 互いに自由を尊重し協力して明るいまちをつくりましょう
- 1 わたくしたちは 教養をふかめ情操をやしない風格あるまちをつくりましょう
- 1 わたくしたちは 老人を敬い 明日を担うすこやかな青少年を育てましょう
- 1 わたくしたちは 心と体を鍛え仕事にはげんで豊かなくらしを築きましょう